成人式に代わる行事を盆に

市長 心苦しく思うが、考えていない。

隈部和久 議員

議員 今季の、本市のインフルエンザの感染状況と、例年との比較は。

福祉保健部長 2月14日現在で2名で、昨年が2,245名、一昨年は3,199名が罹患している。

議員 全国の状況は。

福祉保健部長 現在1万3千人、昨年、729万人、一昨年1,200万人である。

議員 つまり、インフルに関しては、毎年1万人程が死亡していた（ワクチンも特効薬もあるのに）が、今年度は、死者がほぼいないということである。新型コロナに関しても、これから暖かくなっていくという季節性と、ワクチンの接種が始まり徐々に普及していけば（特に高齢者に対し）、感染者は減少し、コロナに対する世の中の考え方、風向きが変わると思う。昨年から、国内の様々な行事やスポーツイベントの中止や、人々の行動の制限が行われてきたが本市の4月以降のイベント等開催に対する考え方は。

福祉保健部長 国内、県内の感染状況を見据えながら、ガイドラインに基づき、対策本部会議において決定していく。

議員 中止にした成人式についても、盆の頃には移動制限もかなり緩和されているはずなので、市内在住及び市外、県外から帰省する成人者に対し何か式に代わるイベントをすべきである。

市長 全国的な感染状況などから、新成人をはじめ御家族、あるいは市民の皆さん方の健康と安全を第一に考え、やむを得ず式典の開催を中止した。既に成人証書等を届けており代替行事的なものは考えていない。

議員 特に県外在住の新成人は、正月の帰省も、周囲の目や風評を恐れた家族等から止められたり、何の瑕疵（かし）もないのに、本来、皆から祝福されるべき人生の節目が犠牲にされてしまった。ぜひとも何らかの本市なりの祝意を表わす行事を行うよう要望する。

またワクチン接種に関し、医療従事者の次に65歳以上に対し接種が開始された場合は、リスクの高い80歳以上から順次接種していくべきである。

福祉保健部長 検討していく。

質問の様子を動画で見よう

接種対象者への周知・啓発について伺う

市長 広報紙や市のホームページにおいて随時情報を更新していく。

柴田恭成 議員

新型コロナウイルス、ワクチン接種について

議員 新型コロナウイルスワクチン接種に関する今後のスケジュールについて伺う。

市長 現在、ワクチンの供給量が世界的に逼迫（ひっぱく）している状況から、十分な供給量が見込めないために、対象者への接種券の郵送時期が遅れる見込みで、国からの最新の情報に基づいて、対象者への接種券を発送し、接種の予約については、接種券が届き次第、市が委託するコールセンターに直接電話していただくことになる。

議員 接種場所と接種方式については、どのようにお考えか。

市長 接種場所については、ワクチンの接種をしていただける市内の医療機関を確保するために医師会を通じて調整しており、接種方式は個別接種と集団接種を併用して行う予定である。

議員 副反応等に対する対策について伺う。

市長 医師の問診の前に保健師による聞き取りを丁寧に実施し、接種後は、注意事項について説明し経過観察場所を設け、看護師による観察を行い、消防署とも連携をとり、緊急の際の備えを行う。

議員 ワクチン接種によって、あってはならないことだが、万が一、障害等が発生したときの救済制度について伺う。

福祉保健部長 接種後の健康被害への補償として、亡くなられた御遺族には4,420万円が支払われ、障害が残られた重度の障害一級の障害が生じた場合は年額505万6,800円支払われることとなっている。

新型コロナウイルスワクチン接種模擬訓練
予約・問い合わせコールセンター ☎050-3629-1269

緊急浚渫（しゅんせつ）推進事業について

議員 昨年9月に質問した緊急浚渫推進事業の取り組み状況について伺う。

市長 現在、現地調査を済ませ事業計画の作成を終え、準用、普通河川合わせて30の河川の浚渫等について総事業費5億円で計画し、令和3年度に事業の申請事務を進めていく予定である。

質問の様子を動画で見よう